

平成31年度保育所入所待機児童の状況調査（集計結果）

調査対象数： 125 回答数： 93 回答率： 74.4%

※平成31年4月24日時点

調査依頼日：平成31年4月11日

設問1. 4月1日時点のお子様の保育状況について

回答数	項目
71	保護者がみている ⇒設問2へ
2	祖父母、親戚、知人に預けている
21	認可保育施設以外の保育サービスを利用している ⇒設問3へ
3	認可保育施設以外の保育サービスを利用予定
0	その他

※複数回答あり

設問2. 設問1において「保護者がみている」場合の保護者の状況について

回答数		項目
父	母	
9	7	仕事をしながらみている（自営・内職・職場同伴・その他）
1	3	就業形態を変更し対応している（勤務日数・時間などを変更）
1	29	育児休業中（育児休業期間を切り上げて復職の希望あり）
1	6	育児休業中（育児休業期間を切り上げて復職の希望なし）
0	7	育児休業中（育児休業期間を切り上げて復職の希望：回答なし）
0	0	就労内定中
0	11	仕方なく求職活動を断念した
0	4	引き続き求職活動中
0	0	就学中
0	5	産前産後休暇中
0	0	疾病等により自宅療養中
0	6	退職した

※複数回答・未回答あり

設問3. 設問1において「認可保育施設以外の保育サービスを利用している」場合の預け先について

回答数	項目
5	認証保育所
0	家庭福祉員
2	勤務先の託児施設
4	その他保育室
2	一時保育
2	ベビーシッター
5	幼稚園
4	その他

※複数回答・未回答あり

※調査日時点で認証保育所を利用していることが確認できている方には、本調査を実施していません。

設問4（ご質問やご意見）

1 待機児ゼロに向けた今後の取組や新たな保育園整備について

- ＞保育無償化よりも保育施設を増やすことを優先してほしいと切実に思っている。狛江市は現在待機児童がかなり多いと思うが、今後（次年度）はどのような対策をお考えか。次年度こそ入園できないと退職するしかないため大変困っている。
- ＞待機児童を0にするためにしていることはあるのか。
- ＞何度も役所に足を運び、様々質問させていただいたが、役所が本気で待機児童を解消しようと考えているとは思えなかった。次年度に新園の計画はないとの言葉・理由に失笑しかない。「狛江市に越して来なければ入園できたのに」とさえ思っている。“待機児童解消”というきれいな言葉だけでなく行動で示してほしい。市民のニーズを汲み取っているとは思えない。数字ではなく声を聞くことを大切にしてほしい。
- ＞認可保育園に入れず世田谷区の認証保育所に無理矢理入ったが、この場合待機児童数には入らないのか。全体の説明会で、今年は待機児童数がゼロになるようなことを聞いたが、0歳児の子で認可に入れた子を聞いたことがない。狛江市がどんな状況なのか、予想も含め明らかにしていただきたい。また、その対策を至急とっていただきたい。
- ＞ここ数年、特に待機児童が多くなっているように受け取れる。待機児童ゼロに向けた施策は数年後の人口を鑑みて計画を今後立てていく必要があると思うが、数年後の児童数の予測も鑑みた保育園の設置計画が立てられているのか。
- ＞狛江市の子育て人口が増えているようなので、認可・認証保育所の増設はさらに進めていくのか否か。
- ＞認可に入れず認証を探したが、3歳枠が全くなかった。おかげで祖師谷まで行くことになり、子どもと満員電車に乗っている。学童も1年生以外はかなり厳しいという話であり、色々と子育て環境に不安がある。
- ＞1度復職したが、突然通っていた保育園が閉園になり、その前に保育園をやめて休職していた。保育園も落ちて認証もキャンセル待ちで退職せざるを得ない状況になった。ベビーシッターなどは料金も高く、市内に認証保育所も少ないため認可に落ちた場合とても困った。狛江市にもっと認証や企業主導型など、認可に落ちた場合の受け入れ先があったらと思う。
- ＞実家に父と夫と子どもと私の4人で暮らしているが、皆仕事で家にいない。それなのに保育が決まらないため、どうしたらよいのか。
- ＞就労内定中だったが、保育園が決まらず求職活動を断念せざるを得なかった。
- ＞狛江市、調布市、世田谷区等の認可外保育サービスの利用、入所が難しく、狛江市への転入手続きを保留している状態である。両親の勤務都合上、子どもの預け先確保が最優先のためである。新園開設、待機・保留児童の解消を期待している。
- ＞一日でも早く保育園にいれたい。
- ＞来年度4月に復職を希望している。兄弟そろって認可保育園に預けたいと希望しているため、どうか整備の方を引続き進めていただきたい。何卒よろしく願いいたします。

【回答】

狛江市では、待機児ゼロの実現に向け、平成27年度に狛江市待機児対策推進本部を設置し、平

成 31 年度までの保育需要数の推計と今後の保育施設整備について検討を行ってまいりました。検討の結果、同本部にて策定・公表した「待機児対策検討報告書」に基づき、平成 31 年度に予定している新設保育園 2 園の開園によって、狛江市の待機児はゼロとなる見込みとなっております。しかしながら、今年度の入園希望者は前年度と比較して 35 人増えており、結果として、平成 31 年度保育園入園申込みの多くの方が入所保留となり、また、遠方の認可外保育施設を利用せざるを得ない方がいらっしゃる状況について、誠に申し訳なく思います。

今後については、認可保育園の新設を平成 31 年度中に 1 園、令和 2 年 4 月中に 1 園を予定しております。その後の新設については現時点では計画がございませんが、今後の人口減少等に鑑み、安定的な保育園の運営が行われるよう、既存園の定員拡大や弾力的な受入の拡大といった手法による検討も含めて検討を進めてまいります。

2 今年度新設の保育園について

>10 月に新設される木下の保育園について、申込み方法を具体的に知らせてほしい。

【回答】

今年度新設される木下の保育園・狛江元和泉については、現在着工が遅れており、開園予定日が未定となっております。開園予定日が決定し次第、広報こまえ等にて申込み方法も含めて、お知らせしてまいります。

3 認可保育園の入所選考手続きや相談対応について

>子どもが早生まれの場合、0 歳児クラスから入園することが難しく、さらに前年に母親が働いていた期間が長いため、他の世帯よりも所得が高くなり、同じ 40 点でも順位が後ろの方になってしまうのではないかと思います。子どもが早生まれの場合は点数を上げる等の配慮をご検討いただけますと幸いです。

>定期的に待機児童が何人いて自分が何番目なのか知らせてほしい。東京都に届出していない託児施設は点数にならないといわれたが、何処なのか知りたい。

>職場に復職しつつ、リモート出勤などしている。必要な時ベビーシッターを利用。こういった場合は優先順位上がるのか。

>育児休業終了までこのまま待っていて希望園に入れる見込みはあるのか教えてほしい。

>求職中の人はずっと保育園に入れないのか。

【回答】

入所選考に際し、指数が同一の場合、最終段階として世帯の所得状況（市区町村民税額が低い世帯）による順位づけをしており、その対象は前年度の市区町村民税額としています。平成 31 年 4 月の入園申込みの場合、平成 29 年 1 月から 12 月までの所得に基づき算出された平成 30 年度の市区町村民税額となります。この税額の算定期間中には、自営業の方、介護をされている方、求職中の方等、育児休業中の方だけではなく様々なご家庭があります。より公正かつ公平な選考が行えるよう、引き続き慎重に検討してまいりたいと考えております。

担当部署の児童青少年課では、待機順位の御案内のほか、今後の施設整備の見込みや認可保育園以外の保育施設の選び方など、状況に応じて様々な御相談をお受けしています。お気軽にご来庁ください。

なお、ベビーシッターを利用されている場合については、当該施設が東京都等に届出を行って運営している施設等であると限るとともに、有償にて就業時間と連動して託児している際に、受託証明書等を御提出していただければ調整指数による加点があります。託児施設の届出状況については、東京都福祉保健局のホームページ「認可外保育施設について」というページから御確認いただくことができます。直近の届出状況については、東京都の担当へお問い合わせください。

また、年度途中の入園については、定員の空き状況によって状況が左右されるため、入園の見込みについてはお答えが難しいと考えます。今年度中に新設予定である私立認可保育園への申込み方法については、今後広報こまえにて掲載を行ってまいりますので、御確認ください。

4 一時保育や預かり保育について

>一時保育が可能な施設が狛江市にあると良い。(制度上はあるものの常時いっばいで、実質、枠がないと断られたため) 今後、第2子のつわりや緊急時に2人同時に見られないことも考えられるため心配。

>狛江市も幼保型の保育園や幼稚園の預かり保育の充実を増やしてもらえないか。このままでは働けない。

【回答】

一時保育については、認可保育園の新設に併せて実施場所を増やすよう取組を進めております。緊急時に安心して利用することができるよう、預かり保育の充実も含め、引き続き検討を進めてまいります。

5 その他のご意見

>ここ数年で子育てサービスや待機児童対策への充実には力を入れていただき目に見えて改善されていると思う。各家庭の様々な事情や心配事に親身になってくださり、ありがとうございます。